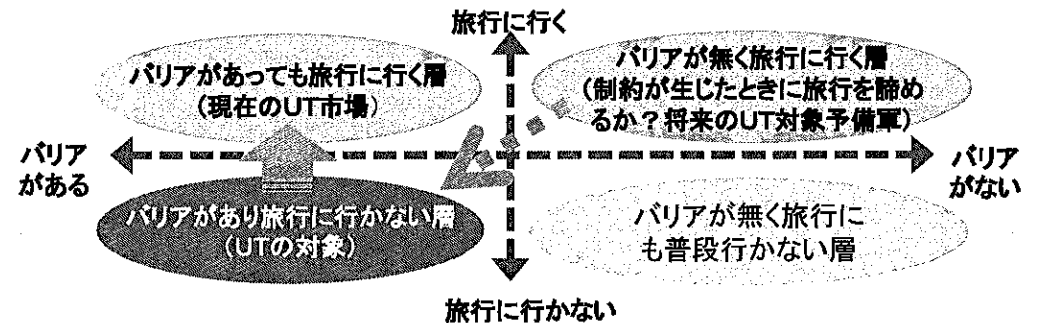


■ユニバーサルツーリズムとは

すべての人が楽しめるように創られた旅行であり、高齢や障害の有無にかかわらず、誰もが安心して参加出来る旅行のこと

■ユニバーサルツーリズムの現状と課題

- **高齢者の増加**
総人口に占める高齢者が増加
(2018年の28%から2040年には35%となる見込み)
- **受け手となる観光地**
地域における一元的な相談窓口が少ない
- **送り手となる旅行会社**
ノウハウを持つ一部の旅行会社のみ取り組み



■ユニバーサルツーリズムの普及促進のための観光庁の取組

◆地域の受入体制強化

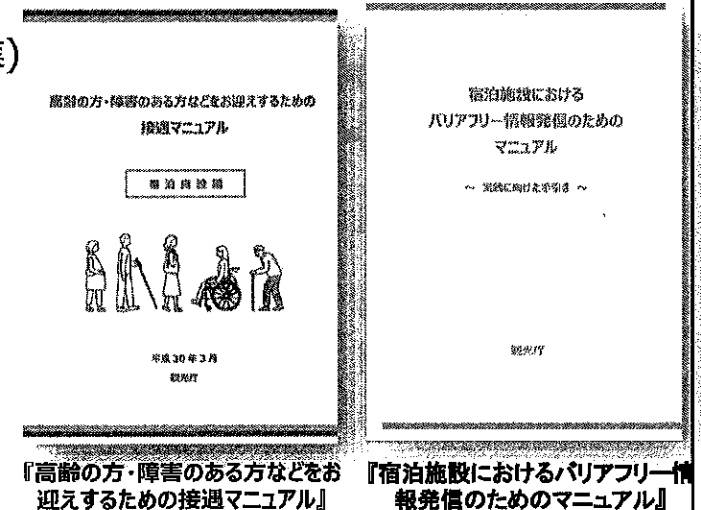
- ・ 高齢者、障害者の受入のための各マニュアル策定、配布(平成29-30年度事業)
⇒自治体、観光協会、宿泊団体の研修や専門学校の授業等で活用
『高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇マニュアル(宿泊施設編/観光地域編)』(平成29年度)
『宿泊施設におけるバリアフリー情報発信のためのマニュアル』(平成30年度)
- ・ バリアフリー旅行相談窓口の普及(平成28年度、今年度事業)

◆旅行商品の供給促進

- ・ 高齢者、障害者の送客ための接遇マニュアル策定、配布
⇒旅行業団体のセミナー等で活用
『高齢の方・障害のある方などをお迎えするための接遇マニュアル(旅行業編)』(平成30年度)
- ・ 収益を見込んだ旅行商品化の促進(平成30年度事業)

※過去のユニバーサルツーリズム促進事業報告書や各マニュアルは観光庁HPにて公表中

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/manyuaru.html>



令和元年度ユニバーサルツーリズム促進事業（予定）

- オリンピックパラリンピックを控え、バリアフリー旅行相談窓口が設置されていない空白地帯の解消及び(多言語による)バリアフリー情報を発信する宿泊施設の増加を事業の目的とする。
 - 複数地域の既存の観光案内所を対象に、宿泊施設のバリアフリー情報の発信^(*)を行う相談窓口の開設に向けた実証事業を実施。窓口設置後は接遇や情報提供の内容等の課題を抽出し、バリアフリー旅行相談窓口のあり方に向けた検証を行うこととする。
- (*)本事業における「宿泊施設のバリアフリー情報の発信」とは法令の基準に関わらず、広く障害者等の受入れに向けた情報（バリアを含む）を発信することをいう。

【事業概要(案)】

公募により5~7地域の観光案内所を選定し、1件あたり50~100万円程度(税込額)、合計500万円を上限として、本事業実施期間内に外国人障害者向けに宿泊施設のバリアフリー情報を発信する観光案内所設置に係る準備費用(以下の項目)の一部を負担する。

- ・外国人障害者の受入に向けた人材育成に係る費用
- ・地域の宿泊施設のバリアフリー調査に係る費用
- ・多言語による宿泊施設のバリアフリー情報発信のためのツール作成に係る費用 等

事業のスケジュール(案)

- * 公募期間: 7月中
- * 第1回検討会(選定審査): 7-8月
- * 事業実施期間: 8月から2月末日
- * 第2回検討会(評価・検証): 3月上旬
- * 事業の公表(3月下旬以降)

ユニソイン札幌

札幌市 泊まる 2016 3.17

2016年1月22日にオープン。ホテルとしての快適性とコストパフォーマンスを両立させたスタンダードな宿泊特化型ホテルです。「札幌駅前地下歩行空間 <チ・カ・ホ>」の7番出入口から徒歩1分未満で、悪天候でも便利なアクセス。札幌時計台や大通公園、北海道庁や札幌市役所からも徒歩圏内で、観光にもビジネスにも便利な立地です。朝食は、和洋食を揃えるビュッフェ形式でご用意しています。



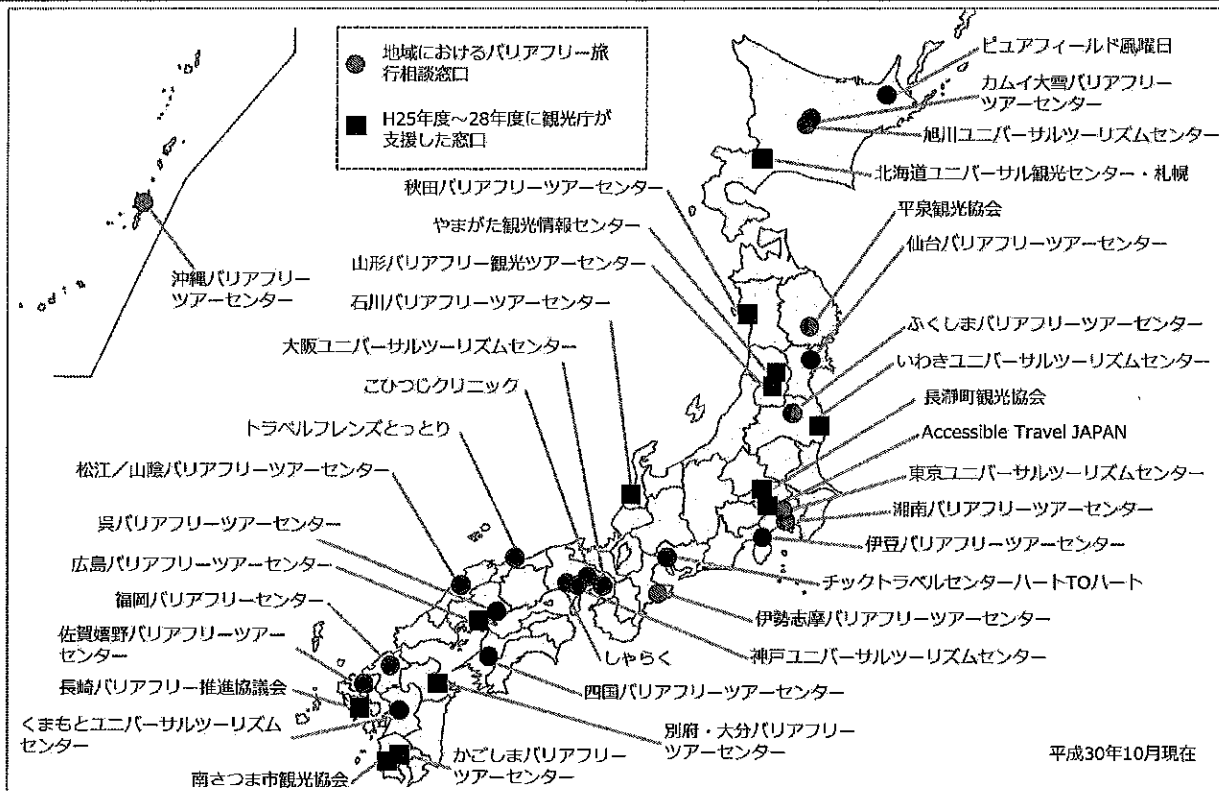
施設情報

※各項目部分をクリックすると写真が見れます。

旅歴旅級	<input type="checkbox"/>	その他情報あり	<input type="checkbox"/>	係りよ未	<input type="checkbox"/>
手話通訳	<input checked="" type="checkbox"/>	メモ対応	<input type="checkbox"/>	車いす貸出	<input type="checkbox"/>
授乳室	<input checked="" type="checkbox"/>		駐車場	<input type="checkbox"/>	契約駐車場
多目的駐車場	<input type="checkbox"/>	要予約予約	貸物出入口誘導	<input checked="" type="checkbox"/>	
通訳ブロック	<input type="checkbox"/>		エレベーター	<input type="checkbox"/>	
一歳トイレ	<input type="checkbox"/>	1階	多目的トイレ	<input type="checkbox"/>	1階
お風呂	<input type="checkbox"/>		温泉	<input type="checkbox"/>	2階
特別食対応	<input type="checkbox"/>	事前連絡	物販店	<input checked="" type="checkbox"/>	
ASL/ASLコミュニケーション	<input type="checkbox"/>	ユニバーサルルーム	二階露室	<input type="checkbox"/>	
大浴場	<input checked="" type="checkbox"/>		貸切風呂	<input checked="" type="checkbox"/>	

観光案内所のホームページによる情報提供のイメージ

出典：カムイ大雪バリアフリーツアーセンター



主なバリアフリー旅行相談窓口(観光庁調べ)

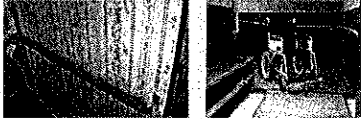

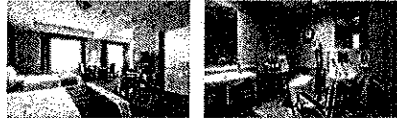
平成30年10月現在

宿泊施設バリアフリー化促進事業

全国各地の観光地において、全ての訪日外国人旅行者がストレスフリーで快適に宿泊できる環境を整備するため、旅館・ホテル等の宿泊施設が実施する客室や共用部のバリアフリー化改修等の取組を支援する。

事業内容

旅館業法の営業許可を得た宿泊施設（旅館・ホテル等）を対象とし、下記の事業に対する支援を行う。

補助区分 【支援事業例】	① 客室の必要最低限の改修等 (一般客室のレベルアップ)  手すりの設置 段差の解消	② 共用部の改修等  スロープの設置 エレベーターの設置	③ 客室の大規模改修等 (車椅子利用者用客室等の整備)  車椅子利用者用客室の整備
2019年 第1期募集 平成30年度二次補正予算 公募時期：2019年3月15日～5月31日	-	-	1 / 2 補助 上限額1,000万円 ※高齢者・障害者等の要配慮者の受入体制等に関して、一定の要件を満たす宿泊施設に限る
2019年 第2期募集 令和元年度予算 公募時期：2019年6月4日～8月2日	定額補助（必要経費の実額補助） 上限額100万円	1 / 2 補助 上限額500万円 ※②、③のどちらかのみ、或いは両方を実施のいずれの場合も可	

補助対象事業者の要件

（第1期募集）

旅館業法の営業許可を得た宿泊事業者（旅館・ホテル等）のうち、次の2つの要件を満たす者

- ①災害時における宿泊施設の提供に関する協定を、地方公共団体と締結している組合等に所属している、又は直接に協定を締結していること
ただし、上記協定は、高齢者・障害者等の要配慮者への提供が定められたものに限る。
- ②訪日外国人旅行者の高齢者・障害者等が宿泊した実績を有すること

（第2期募集）

旅館業法の営業許可を得た宿泊事業者（旅館・ホテル等）

※風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第6項に規定する店舗型風俗特殊営業を営む者は対象外

※上記内容は2019年6月4日現在のものであり、今後変更となる場合があります。